

対日理解促進交流プログラム「JENESYS」国際交流事業
大学生・大学院生派遣 オンライン派遣プログラム
参加者募集

2023年6月

一般財団法人 日本国際協力センター

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）では対日理解促進交流プログラム「JENESYS」（対象国：ASEAN 諸国及び東ティモール）の実施団体として青少年交流事業を実施しています。この度、ASEAN 諸国との国際交流プログラムに参加する大学生・大学院生参加者を募集します。

I. プログラム概要

1. 事業概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する人的交流事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣又はオンライン交流を行うものです。政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

2. 派遣国・応募要件等

(1) 対象者

日本の大学生・大学院生

(2) 対象国、テーマ、人数

- ・ミャンマー（テーマ：文化交流）20名程度
- ・インドネシア（テーマ：生活文化交流）20名程度

(3) 実施日時

- ・プレプログラム（各2時間程度を予定）
- ・本プログラム（6日間程度を予定）

国名	第1回オンライン プレプログラム	第2回オンライン プレプログラム	第3回オンライン プレプログラム	オンライン 本プログラム
ミャンマー (文化交流)	8月下旬実施	10月～11月実施		2023/12/1～12/15期 間内の平日6日間程度
インドネシア (生活文化交流)		10月～1月実施		

※本プログラムの標準日程（案）は別紙2参照。連続した6日間でない可能性あり。

※プレプログラムならびに本プログラムの両方への参加が必須。

※本プログラムの日程については、派遣国の情勢により数日前後する可能あり。

(4) 実施方法

Zoom を使用したオンラインプログラム

(5) 内容

① プレプログラム

(目的) 本事業のミッションを理解するとともに、派遣国と日本の関係について学ぶ。

- ・ JICE による本事業の概要・目的・ミッションの説明
- ・ 派遣国の概況、日本と派遣国の関係に関する講義、自己学習
- ・ 交流校との事前交流
- ・ 派遣国から来日する招へい者との交流など

② 本プログラム

大学交流、市内視察、ホームビジット、ワークショップ、報告会等

(6) 参加者の準備・作業

以下の事前準備、プログラム中の活動、事後活動は全て参加者の必須課題です。

① 事前準備

- ・ 派遣国（歴史、文化、社会、政治、経済、宗教、民族等）についての事前学習
- ・ 日本（政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等）や在住地域についての事前学習
- ・ 日本の魅力やテーマに関するプレゼンテーションを行う準備及び日本文化を実演する準備
- ・ プレプログラム、中間ミーティング（準備状況の確認等実施）への参加
- ・ 事前学習に関する SNS 等での発信

② プログラム中の活動（本プログラム実施中）

- ・ 英語もしくは現地語を用いた日本の魅力についてのプレゼンテーション及び実演の実施
※学校交流等の際、派遣テーマについて、パワーポイントを用いたプレゼンテーションと実演を行い、日本に興味・関心を持ってもらえるような紹介を行う。（合わせて 1 時間～1 時間半程度）
- ・ プログラム中の体験や日本の魅力を英語や各国言語を用いて SNS 等で発信
- ・ 毎日の「気づき」の記録
- ・ ワorkshopの実施（プログラム中の気づきの共有とアクション・プラン※の作成、報告会準備）
- ・ 報告会の実施（気づき及びアクション・プラン※の発表）
- ・ 参加中アンケートの回答

※アクション・プラン：プログラム中の学び・経験を元に、プログラム実施後、派遣団各々が日本と派遣国との関係継続・向上に資する活動を行う計画のこと。

③ 事後活動（本プログラム終了後）

アクション・プランの実施及び実施報告書の提出（終了後 3 ヶ月以内に実施）

- (例)
- ・ 来日する招へい者との交流を実施
 - ・ 高校・付属中学・大学、在住地域等での報告会実施
 - ・ 新聞や広報誌へ参加経験、日・派遣国の友好・関係向上に資する展望を寄稿
 - ・ 日本の文化や生活（日本への留学・就職情報含む）を英語・現地語で定期的に発信
 - ・ 日本と派遣国の相互理解のための文化行事の開催
 - ・ アクション・プラン実施報告書の提出
 - ・ プログラム終了 3 ヶ月後アンケートの回答

(7) 参加者条件

以下項目を全て満たしている者が派遣団選考の対象となります。本事業は、個人単位での受付とします。

- ① 派遣時に正規過程に在籍する大学生・大学院生であり※1、本事業の趣旨・目的を理解した上で、事前準備、プログラム中の活動、事後活動を確実にやり、日本の代表としての行動が期待できる者（年齢 35 歳以下）。
- ② 日本国籍を有する者。日本に居住する外国籍の者の応募については、その旨を要申告。
- ③ 日本政府の実施または推進する派遣事業※2 において参加経験がない者。但しオンラインプログラム参加者は可。
- ④ 対外発信および意思疎通ができる英語力（目安：TOEIC600 点以上）や派遣国の公用語等の言語能力を有する者※3。
- ⑤ 派遣国・地域に興味・関心・学ぶ意欲を有し、日本と派遣国との交流において積極的に友情を育める者。また、日本の外交姿勢等に関する日本の概要・魅力等を正しく紹介・発信できる者。
- ⑥ テーマについて効果的に発信できる者、派遣国と友好都市や姉妹都市提携をしている地域に在住・通学している等、派遣国と繋がりがあある者など。
- ⑦ 後述の「IV.本プログラム参加における責任範囲」、別紙 1 の「個人情報利用同意書」に同意できる者。

- ※1 所属大学・大学院発行の在籍証明書、または、教員や国際交流センター等の署名・捺印の書類を以て、在籍を確認します。
- ※2 海外渡航プログラム例：JASSO（日本学生支援機構）海外留学支援制度、トピタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府（青年国際交流事業）
- ※3 申込書（エントリーフォーム）に語学力を明記し、英語または派遣国の公用語・母国語の語学力の証明書の写しをご提出いただきます。語学試験類の受験経験はないが相応の語学力を有する場合（例：帰国子女、ESS クラブや英語弁論大会等の実績を有する者等）は、語学力を証明する成績表の写しまたは推薦状にて代替可とします。

II. プログラム費用

無料

※但し、インターネット接続費用、プレゼンテーションや実演に必要な資材等の費用は参加者負担となります。

III. 応募方法

1. 応募について

個人単位での受付となります。

(1) 応募締め切り： **2023 年 7 月 23 日（日） 17:00**

(2) 応募方法：

- ・以下の申し込みフォームのリンクから必要事項を入力し、送信してください。

申し込みフォーム：<https://jice.form.kintoneapp.com/public/jenesys-out-ef>

- ・以下の提出書類については上記サイト内にアップロードにてご提出ください。

ただし、「在籍証明類」については、参加が決定次第取り付けの上、ご提出をお願いいたします。応募時には必要ありませんのでご注意ください。

(提出書類)

- 顔写真
- 英語または派遣国の公用語・母国語の語学力の証明書類：①証明書の写し、または②語学力を証明する成績表の写しまたは推薦状（1通）
- プログラム中の責任範囲の同意（個人用）
- 個人情報の同意（個人用）
- 事務手続きの協力確認（個人用）
- (合格決定後提出) 在籍証明書類**：所属大学・大学院発行の在籍証明書、または、教員や国際交流センター等の署名・捺印の在籍証明書類

※ご提出いただいた応募書類は返却いたしません、当課にて大切に保管します。

2. 選考方法

書類選考

※応募書類の記載内容について、確認のため、電話またはメールで連絡をする場合があります。

※渡航プログラムへも応募される方については、渡航プログラムの選考方法に準ずることになりますので、インタビューを受ける流れへと変更になります（渡航プログラムの募集要項をご参照ください）

インタビューは7月31日～8月3日の間に、Zoomを使用して実施する予定です。

オンラインプログラムである、ミャンマー、インドネシアのみをご希望される方は、書類選考のみとなりますが、電話で簡易なインタビューをさせて頂く可能性もございます。

3. 選考結果通知

選考結果については、本派遣事業に申込みをした全ての応募者に対してメールにて8月上旬に通知します。

なお、応募者は、選定の理由については不問とし、選考結果については異議を申し立てることができません。

IV. 本プログラム参加における責任範囲

1. 各国の事情等やむを得ない事由により、プログラム日程が変更される場合があります。
2. 本プログラムへ参加されるにあたり、授業を休む場合の扱いや単位認定については、所属する大学/大学院にご相談の上、ご判断ください。

V. 問い合わせ先

〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 小田急第一生命ビル16階

一般財団法人 日本国際協力センター 国際交流部青少年交流課 派遣担当

Email: jenesys2023haken@jice.org

※申込に関するお問合せの際は「JENESYS2023 大学生・大学院生派遣事業」の照会とお申し出ください。

■ 一般財団法人日本国際協力センター（JICE）とは ■

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、1977年の設立以来、主に開発途上国を対象とした国際協力事業に関する業務を行ってまいりました。現在は開発途上国を含む世界 145 カ国・地域と我が国との互恵関係の強化に資する事業を通じて、国際社会の発展に寄与することを目的とした事業を行っています。

主な事業は、外務省をはじめとする中央官庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）、大学、地方自治体、公益法人、企業、国際機関および外国政府等の国際研修運営、国際交流、留学生受入支援、通訳派遣、日本語研修、コンベンション・セミナー、プロジェクト支援、開発教育支援事業です。

JICE では 287 名の事務スタッフに加え、31 言語に対応した 1,086 名の専門スタッフが、これまでの経験・知見を十分に活かして、各事業の案件形成、調査、研究、実施及び評価を行っています。JICE は「知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。」をキャッチフレーズに、心と言葉で「日本の技術・知識・経験」をつなぎ、世界の人々と、共に学びあい、理解を深めながら、各国の将来を担う人材育成に取り組んでいます。

参加者の皆様へ

一般財団法人日本国際協力センター
個人情報保護管理責任者（事務局長）

個人情報の取扱いについて

当センターでは、個人情報の適切な取扱いを期しています。皆様には、下記の事項をご理解いただき、個人情報の提供にご同意いただきますようお願い申し上げます。

今回、以下の業務を目的として、皆様の個人情報を取得しています。それ以外の目的で皆様の個人情報を利用することはありません。

- (1) 本事業にかかる参加調整
- (2) 海外渡航、旅行手続き
- (3) 各種資料の送付
- (4) 緊急連絡
- (5) 事業実施報告書や広報媒体（ホームページ、Facebook、インスタグラム、年報、広報誌等）への写真掲載
- (6) その他、当センターが実施する国際研修運営や留学生受入れ支援、国際交流、多文化共生、開発教育、コンベンション・セミナー等の事業に関する情報提供やご案内

プログラムの効果的・円滑な実施、ホームステイ・ビジットプログラムの際の適切なマッチング等のため、個人情報の中には、職業、家族構成（ご家族の名前、続柄、年齢、性別、職業/学校名等）、事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただき写真・映像も含まれます。

また、当センターが JENESYS2023 プログラムを遂行する上で、下記の条件で皆様からお預かりした個人情報を書面による手交、郵送、FAX またはメールにて提供する場合があります。

	提供する個人情報項目	提供目的	提供先
(1)	氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、学校名、語学資格/経歴、団体活動/国際交流事業/渡航経歴、健康状態、応募理由、自己 PR、銀行口座	実施運営上の参加者情報の共有、参加者の選考、JICE 事業関連資料	派遣事業実施運営関係機関（外務省、派遣国日本大使館、ASEAN 事務局等）、および実施運営関係者、旅行会社、印刷関連業者、参加者間
(2)	事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただき写真・映像	事業実施後に当センターにて作成を行う実施報告書や当センター広報媒体（ホームページ、Facebook、インスタグラム、年報、広報誌等）、外務省広報媒体への掲載	

当センターへの個人情報の提供は皆様の自由なご判断に任されます。ただし、個人情報の一部を提供していただかない場合は、JENESYS2023 プログラムにおいて適切な判断ができないことがあります。皆様には、当センターに提出して頂いた個人情報について、利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、項目の追加・削除、また個人情報自体の消去や利用停止、提供停止を求める権利があります。自己の個人情報の開示等の請求を行いたい場合は、下記の間合先までご連絡ください。

個人情報相談窓口 一般財団法人日本国際協力センター 総務部 個人情報相談窓口

TEL : 03-6838-2702 / E-mail : privacy@jice.org

JENESYS2023 プログラムに関するお問合せ先

一般財団法人日本国際協力センター 国際交流部 青少年交流課

E-mail : jenesys2023haken@jice.org

		プログラム	ねらい
プレプログラム (計3日間) 各日2時間~2.5時間			
1回目 8月末		初回オリエンテーション JENESYS概要、目的等の説明	JENESYSの概要、目的等を理解し、参加者としての自覚と意欲を高める。
2回目	2時間~ 2.5時間	【講義】派遣国理解・テーマ関連講義	派遣国の政治・経済・外交・歴史・文化等を理解し、日本と相手国の類似点・相違点を考える。各国における日本の位置づけを把握し、以降のプログラムでの交流、「日本の強み・魅力」の発信に役立てる。各プログラムのテーマについて発信できるよう、知識を身につける。
		【講義】独立行政法人国際協力機構 (JICA)	国際社会におけるODAの現場 (技術協力プロジェクト、ボランティアの活動等) を視察し、関係者や現地の人々との交流を通して、先進国としての日本の役割、派遣国支援、国際協力の在り方等について考える。
3回目		【交流】本プログラム交流予定校、来日する招へい者との交流等	本プログラムで交流する派遣国学生と事前交流を行い、効果的な発表ができるよう準備する。派遣国から来日する学生とオンライン又は対面で交流し、派遣国理解の一助とする。
本プログラム (計5~6日間) 各日2時間~2時間半			
1日目	0.5時間	オリエンテーション 他	JENESYSの概要、目的等を再確認し、参加者としての自覚・意欲を高める
	1時間	【視察】市内視察 【講座】派遣国言語講座	派遣国の人々の暮らしぶりや社会の現状を参加者自身の眼で確かめ、理解を深める。
	1時間	【ホームビジット】	派遣国の家庭訪問を通じて、現地の生活事情を学ぶ。ホストファミリーとの交流を通じて草の根レベルで日本と派遣国との間の信頼関係を築くとともに、日本について紹介し、ホストファミリーや地域の人たちの日本への関心を高めるきっかけをつくる。
2日目	2.5時間	【学校交流】① ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生とのディスカッション	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、現地の同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、現地の学生からも派遣国についてプレゼンテーションをしてもらい、相互理解を深める。そして、両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。
3日目	2.5時間	【学校交流】② ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生とのディスカッション	
4日目	1時間	【ワークショップ】	プログラム中の学びを共有し、アクション・プラン (プログラム参加後の活動案) について話し合いを行い、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。
5日目	1時間	【報告会】	プログラム中の学び、アクション・プランについて、日本大使館/派遣国政府/ 現地交流関係者等へ報告する。
	1時間	【交流会】	派遣国関係者とプログラム中の思い出を語らい、プログラム終了後の友好関係の継続を確認する機会とする。

※プログラムの内容・日数等は変更が生じる可能性があります。

対日理解促進交流プログラム JENESYS2023
大学生・大学院生 オンライン派遣プログラム同意書

プログラム中の責任範囲の同意

募集要綱に記載の「IV.本プログラム参加における責任範囲」にご同意くださる場合は口枠にチェック
☑をお願いいたします。

西暦 年 月 日

同意する

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印下さい。

個人情報の同意

別紙1記載の「個人情報の取り扱い」にご同意くださる場合は、口枠にチェック ☑をお願いいたしま
す。

西暦 年 月 日

同意する

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印ください。

プログラム実施にかかる協力確認

以下をご一読いただき、各項目に同意いただける場合は、口枠にチェック ☑をお願いいたします。

- インターネット環境を整備して万全の状態プログラムに参加します。
- 事前準備、プログラム中の活動、事後活動は積極的に行い、必要書類は期限内にJICEへ提出しま
す。
- 派遣プログラム開始以前に諸事情で連絡がつかない期間がある場合は、JICEスタッフへ報告しま
す。
- やむを得ない事由以外によるプログラムへの遅刻・欠席はしません。

西暦 年 月 日

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印ください。